



製造業/空調・冷凍機器の製造販売

「ダイキン工業株式会社」様

カラーラベルプリンター
TM-C7500

パーツラベルのカラー化で入在庫管理の
確実性の向上と新たな業務改善を実現

TM-C7500が業務の安定稼動とランニングコスト低減に貢献!

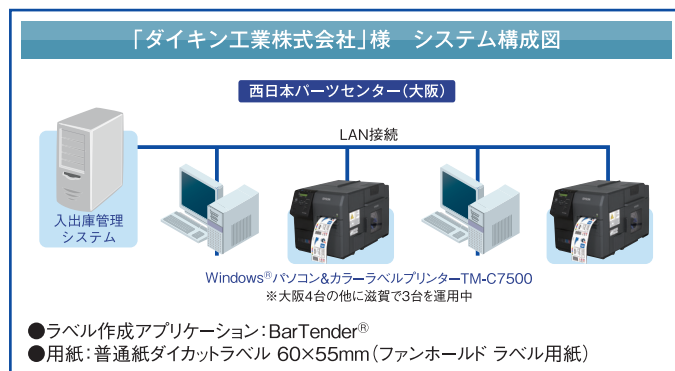
導入状況

●国内・海外を市場に売上高2兆円を超える大手空調メーカー
売上高2兆円以上、グループ従業員数6万人を超える大手空調メーカー。低温暖化冷媒R32や省エネインバータ技術を筆頭とする主力の空調事業と化学事業に加え、大気汚染抑制に貢献するフィルタ分野や、食料の保存・輸送に寄与する冷凍冷蔵分野など、お客様ニーズに合わせて空気・空間の環境を創造するエンジニアリング事業を行っています。近年は、国内だけでなく新興国などにも市場を拡げ、海外売上高比率75%。2015年にはグローバル研究所「テクノロジー・イノベーションセンター」を開設し、環境・エネルギー・健康の様々な課題解決に向けた研究活動も開始。2020年には全世界で温暖化影響の6,000万トン抑制を目指しています。西日本パーツセンターでは、国内海外全地域分の部品調達管理と、西日本地区の販売店様や、各地サービスセンターなどへの発送管理を行っています。

●パーツラベルと個装作業指示書ラベルの印刷に使用

ダイキン工業(株)西日本パーツセンター様では、入庫・出庫管理の厳正化と業務効率化を図るため、パーツラベルのカラー化を実現されました。ラベルのカラー化にあたり、カラーラベルプリンター「TM-C7500」7台を導入、パーツラベルの他、作業指示等の印刷にも活用されています。システムの企画、運用を担当されているサービス本部企画部部品グループの方々に

お話を伺いました。「商品化個装は、大阪、滋賀の2箇所で開催しており、パーツラベル印刷も、この2箇所で開催しています。『TM-C7500』は、入在庫管理システムとネットワークで接続し、入庫の際に部品に貼り付ける「パーツラベル」、入庫作業指示内容の「作業指示書」や部品行き先のプラコンなどに貼る「行き先表示ラベル」の印刷に使用しています。新システム導入でカラー化したことにより、パーツの入出庫管理の確実性を更に向上させることができました。」



製造業/空調・冷凍機器の製造販売

「ダイキン工業株式会社」様

導入の経緯

入在庫管理システムの改変と、より確実性の高い運用を実現させるためカラーラベルプリンターの導入を検討

●プレ印刷ラベルでは運用面で限界があった

「以前は印刷会社に外注して、予めカラーの社名ロゴ・個別の識別番号・バーコードをプレ印刷した用紙を作成して納品してもらい、品名等の可変の情報をモノクロ熱転写ラベルプリンターで印刷していました。個別の識別バーコードもプレ印刷していたため、戻入品でラベルを貼り換える場合など、バーコード情報が引き継がないなどの課題がありました。」

2014年から商品管理の厳正化を目的に、即時ラベル発行システムへの転換がスタート。プリンターも、プレ印刷が要らず、入庫時に必要な分だけラベル発行できるようカラーラベルプリンターを採用することを決めました。当初は他社のカラープリンター採用を検討していたのですが、販売店から2015年3月に新しく発売された「TM-C7500」の提案を受け、評価機を借りてテストをしたところ、非常に結果が良かったため、早速4月に5台を導入。2016年には2台を追加導入しました。」

●導入の決め手は印刷速度と印刷品質、さらにランニングコスト

「導入の決め手は印刷速度と印字品質。「TM-C7500」は、最大300mm/秒と当初検討していた他社製品に比べて2倍のスピード。特に連続印刷が圧倒的に速い点が選定ポイントでした。また、システム側のラベル発行アプリケーションとして採用を決めていた「BarTender®」との親和性が高く、読取精度の高いバーコードやQRコードが印字でき、ロゴカラーの再現もエプソンのほうが鮮明でした。インクカートリッジの定期的な攪拌作業なども要らないので使い勝手が良く、さらに、「TM-C7500」だとオートカッターを標準装備している上、他社製品だと100万枚印刷毎に必要なヘッド交換なども不要なため、試算してみると、5年でランニングコストに数十万円の差がつくことも大きな決め手となりました。販売店様やエプソン様の導入、運用時の協力も評価しています。」

(注):「QRコード/QR Code」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

導入後のご感想

ラベルをカラー化したことで、個装作業指示書ラベルの情報量と視認性を強化、作業の確実性が向上

●カラー印刷を活用することでシステム変更の柔軟性向上
注意表示や行先別などの視認性アップ

「新システムとカラーラベルプリンターを導入したことで、従来のプレ印刷用紙+モノクロプリンターでの運用と比較し制限事項が無くなり、ラベルのフォーマットは自由にレイアウトできるようになりました。カラーが自由に使えることになったことで、個装作業指示書ラベルの注意事項を赤字にしたり、プラコン用の行き先表示ラベルも東日本行きは「赤表示」、九州行きは「緑表示」で印刷するなど、配送ミスを無くするための新たな改善アイデアを運用開始以降も随時取込むことができるようになりました。」

●プリンター本体の液晶画面が大変便利、ファーム改善も高く評価

「実際に使ってみると、プリンター本体にある液晶画面が大変便利です。管理PCはプリンターとは別の場所にあるためLED式のエラー表示だけでは、現場では何が問題なのか分からないことがあります。「TM-C7500」はエラー

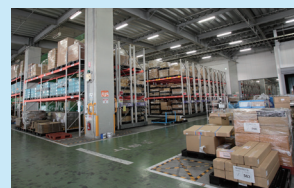
時に管理パソコンまで行かなくても何のトラブルかがプリンターの液晶画面ですぐに判り現場で対応を取ることができます。また、予備のプリンターと交換する際も、IPアドレスの変更がプリンター本体だけで簡単にできるため、とても助かっています。導入後の障害も非常に少ない点も評価できますね。今、ラベル使用量の少ない返品パーツのラベル再発行専用エプソンのカラーラベルプリンター「TM-C3500」の導入を検討しています。また現在はパーツラベルの印字を全て西日本パーツセンターで行っていますが、将来的には東京や九州でもできるよう検討しています。その際は「TM-C7500」の追加導入を考えていますので、またご協力をよろしくお願いいたします。」

■ 企業概要

- 所在地
 - <本社>
〒530-8323 大阪市北区中崎西 2-4-12 梅田センタービル
 - <西日本パーツセンター>
〒554-0041 大阪府大阪市此花区北港白津1-5-73
- 創業 1924年10月25日(大正13年)
- 従業員数 6,870人(2016年3月末現在) グループ会社連結 60,805人
- 事業内容 空調・冷凍機器他の製造販売



西日本パーツセンター (大阪)



パーツセンター倉庫内

製品に関するお問い合わせ・資料請求は下記まで

インフォメーションセンター

TEL.050-3155-7020

受付時間 9:00~17:30 月~金曜日(祝日・弊社指定定休日を除く)

<http://www.epson.jp/label/>

エプソン販売株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿4丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー29階

* 左記電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しております。
* 左記番号がご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTT東日本、NTT西日本の
固定電話(一般回線)からおかけいただくか、042-585-8525までおかけください。